

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 (平成29年9月30日)	前連結会計年度 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産	8,190,140	7,324,262
固定資産	4,926,422	4,325,496
有形固定資産	4,189,877	3,981,029
無形固定資産	376,891	73,757
投資その他の資産	359,654	270,710
資産合計	13,116,562	11,649,759
負債の部		
流動負債	5,644,304	5,221,990
固定負債	1,475,761	1,355,578
負債合計	7,120,066	6,577,569
純資産の部		
株主資本	5,753,320	4,976,088
資本金	464,817	464,817
資本剰余金	557,563	557,563
利益剰余金	4,892,647	4,064,368
自己株式	△161,707	△110,659
その他の包括利益累計額	95,500	96,101
その他有価証券評価差額金	96,243	32,352
為替換算調整勘定	△743	63,748
非支配株主持分	147,675	—
純資産合計	5,996,496	5,072,189
負債純資産合計	13,116,562	11,649,759

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 平成28年10月1日から 平成29年9月30日まで	前連結会計年度 平成27年10月1日から 平成28年9月30日まで
売上高	10,898,345	10,374,651
売上原価	7,225,889	6,923,816
売上総利益	3,672,455	3,450,834
販売費及び一般管理費	2,513,564	2,370,785
営業利益	1,158,891	1,080,049
営業外収益	257,016	68,024
営業外費用	26,466	193,178
経常利益	1,389,441	954,895
特別損失	5,072	3,905
税金等調整前当期純利益	1,384,369	950,989
法人税、住民税及び事業税	419,212	386,140
法人税等調整額	22,318	△18,295
当期純利益	942,838	583,145
非支配株主に帰属する当期純利益	163	—
親会社株主に帰属する当期純利益	942,675	583,145

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 平成28年10月1日から 平成29年9月30日まで	前連結会計年度 平成27年10月1日から 平成28年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,201,250	784,631
投資活動によるキャッシュ・フロー	△696,471	△126,777
財務活動によるキャッシュ・フロー	△235,663	△566,084
現金及び現金同等物に係る換算差額	44,106	△46,648
現金及び現金同等物の増減額	313,221	45,120
現金及び現金同等物の期首残高	1,444,684	1,399,563
現金及び現金同等物の期末残高	1,757,905	1,444,684

創立60周年

当社は、1957年設立から数えて60周年を迎え、創立60周年記念式典を開催致しました。

グループ会社（東京・大阪・名古屋・タイ・アメリカ・イギリス・中国）より、約300名が参加致しました。

当社が今後100周年を目指すにあたり、全ての社員が夢を持ち、当社に働きながらその夢を叶えてもらいたいとの思いを込めて、式典のテーマは「Make A Wish」と致しました。



1G DYNAMICS LIMITEDの設立

IMVヨーロッパの子会社として“1G DYNAMICS LIMITED”を2017年7月に設立しました。

これにより、世界No.1のメンテナンスサービス会社として、イギリスを中心としたヨーロッパ地域のみならず、全世界の顧客に対して、弊社主力商品である振動シミュレーションシステムに対するメンテナンスサービスを充実させると共に、顧客に対する利便性の向上と拡販が図れるものと考えております。



株主メモ

事業年度 10月1日から翌年9月30日まで

定時株主総会 12月中

定時株主総会の基準日 9月30日

配当金受領株主確定日 期末配当金 9月30日
中間配当を行う場合は 3月31日

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部
☎️ 0120-782-031（フリーダイヤル）
取扱事務は三井住友信託銀行株式会社の
全国各支店で行っております。

単元株式数 1,000株

上場証券取引所 東京証券取引所JASDAQ市場
(証券コード：7760)

公告方法 電子公告の方法により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由により
よって電子公告による公告をすることが
できない場合は、日本経済新聞に掲載し
て行います。
公告掲載URL <http://www.imv.co.jp/>

■住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■未払配当金のお支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

IMV CORPORATION



この報告書は、環境に配慮し、
植物油インキを使用しております。

第71期報告書

IMV通信

平成28年10月1日 ▶ 平成29年9月30日

SECURE THE FUTURE
FIRST choice
for our partners

Future
Integrity
Reliability
Strength
Technology



IMV株式会社

(証券コード：7760)

Top Message

トップメッセージ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第71期（平成28年10月1日から平成29年9月30日まで）IMV通信をお届けいたします。

平成29年12月

代表取締役社長 **小嶋 淳平**



当連結会計年度の概要

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用環境の改善を背景に個人消費は緩やかに回復し、企業の生産活動も持ち直してきている等、緩やかな回復基調が続いております。海外経済におきましては、欧州経済での地政学的リスク等による先行きに不透明さは残るものの、欧州では緩やかな景気回復が継続し、米国経済も緩やかな回復基調で推移しました。

このような環境の中、当社グループは、当社の主力製品であるiシリーズの後継機として開発・製品化した「ハイグレードタイプ振動試験装置Aシリーズ」及び低周波振動や微小振動を3軸同時に計測可能な「小型高性能振動計測装置」の積極的な販売活動を進めてまいりました。また、山梨県上野原市に開設した「東京テストラボ上野原サイト高度試験センター」において、顧客獲得のた

めの設備投資を進めてまいりました。さらには、イギリスを中心としたヨーロッパ地域のみならず、全世界の顧客に対して、弊社主力商品である振動シミュレーションシステムに対するメンテナンスサービスを充実させることを目的として、1G DYNAMICS LIMITEDをイギリスに設立する等、様々な取組みを進めております。

以上の結果、当社グループの売上高は10,898百万円となり、前連結会計年度と比べ523百万円の増収（対前年同期比5.0%増）となりました。利益面では増収効果や円安による為替影響等により、経常利益は1,389百万円となり、前連結会計年度と比べ434百万円の増益（対前年同期比45.5%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は942百万円となり、前年同期と比べ359百万円の増益（対前年同期比61.7%増）となりました。

次期の見通しにつきましては、雇用や所得環境の改善傾向が続く中、緩やかな景気の回復は継続するものと期待されますが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動等、世界経済が下振れるリスクが存在していると思われる状況であります。

このような状況の中、当社グループは、振動シミュレーションシステムにおいては、昨年度に引き続き、国内及び海外での売上は自動車関連業界を中心に順調に推移する予定であります。また、「ハイグレードタイプ振動試験装置Aシリーズ」の販売強化についても同様に、積極的に取組んでまいります。

さらには、1G DYNAMICS LIMITEDの本格稼働により、全世界の顧客に対して、弊社主力商品である振動シミュレーションシステムに対するメンテナンスサービスを充実させる等、様々な取組みを進めております。

テスト&ソリューションサービスにおいては、サービスラインナップの拡充や振動技術の深堀にチャレンジする等、差別化に取組む予定であります。

メジャリングシステムにおいては、高性能加速度センサモジュールを積極的に活用し、引き続き、社会インフラ事業にも貢献してまいります。

一方で、海外事業への取り組みを行うため人員増加、設備・研究開発の積極的な投資、テスト&ソリューションサービスの設備増強に伴う減価償却費の増加等、今後の成長に不可欠な事業投資を積極的に行うための費用増加を見込んでおります。

以上により、売上高につきましては11,500百万円（前期比5.5%増）、経常利益1,200百万円（前期比13.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益780百万円（前期比17.3%減）を見込んでおります。

なお、業績見通しの前提となる為替レートにつきましては、1ユーロ=121.2円、1パーツ=3.2円、1US\$=111.4円を想定しております。また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

次期の見通し

Segment Information

品目別の概況

振動を計測するメジャリングシステム
連結売上高 **10億5,000万円**

（前年同期比10.7%増、売上構成比9.6%）

メジャリングシステムの分野におきましては、フィリピン市場にて、高性能加速度センサモジュールを用いた地震監視計の売上が順調に推移し始めたのに加え、国内では、振動計測装置のOEM供給を始めたほか、電力会社向け高額案件等により、順調に売上が推移しました。その結果、前年同期を上回る結果となりました。



地震監視装置

ワイヤレスタイプ長周期振動モニタリングシステム

振動を再現する振動シミュレーションシステム
連結売上高 **82億6,100万円**

（前年同期比3.3%増、売上構成比75.8%）

振動シミュレーションシステムの分野におきましては、大型受注案件が減少したものの、自動車関連業界及び電機電子業界を中心に温湿度・振動複合環境シミュレーションシステムの売上が依然として順調であり、省エネ型振動シミュレーションシステムの売上も堅調に推移しました。



連結
売上高
108億9,800万円



Aシリーズ
(大型65kN振動試験装置)



Kシリーズ
(水冷式大型振動試験装置)



温湿度環境振動試験装置

(100万円未満切捨)

振動問題を解決する
テスト&ソリューションサービス
連結売上高 **15億8,600万円**

（前年同期比11.0%増、売上構成比14.6%）

テスト&ソリューションサービスの分野におきましては、東海地区における市場への新規参入企業があったことにより、名古屋テストラボにおいて売上が減少したものの、大阪テストラボ及び上野原テストラボの順調な稼働により前年同期を上回る結果となりました。



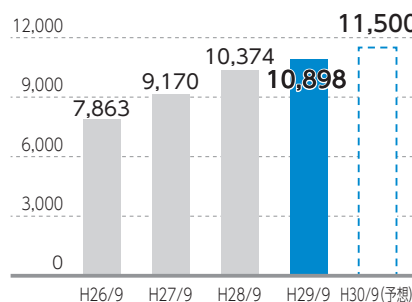
衝撃試験装置

水平テーブル付単軸電動式複合振動試験装置

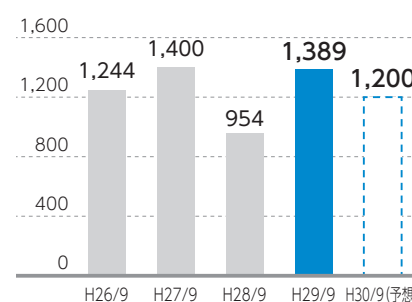
Highlights

ハイライト

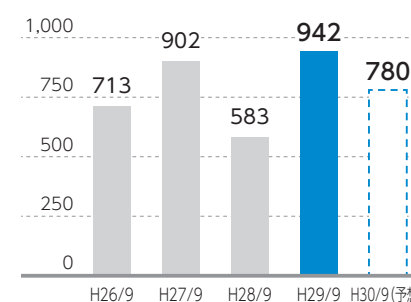
連結売上高 (単位: 百万円)



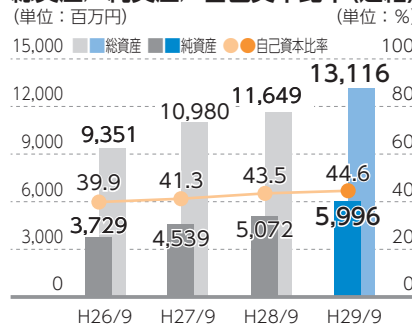
連結経常利益 (単位: 百万円)



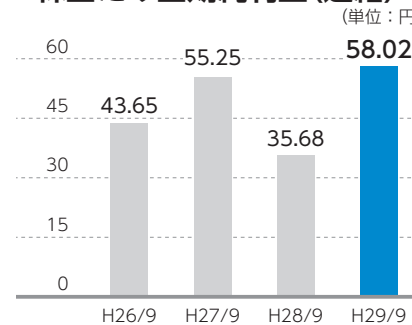
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 百万円)



総資産/純資産/自己資本比率(連結) (単位: 百万円) (単位: %)



1株当たり当期純利益(連結) (単位: 円)



連結海外売上高/輸出比率(連結) (単位: 百万円) (単位: %)

